



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2021年(令和3年)7月5日号 No.1863

目次

■ 2020年のロシアの外国直接投資受入動向	1
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	ROTOBOモスクワ事務所 7
■ 統計速報	18
■ エトセトラ	21
「カザフスタン・スタートアップ・ピッチデイ」開催のご案内／21	
■ トピックス	22
日・ジョージア投資協定発効／22	
モンゴルの空港を日本企業が運営開始／22	
ロシア・NIS諸国の新型コロナウイルス関連ニュース／22	

2020年のロシアの外国直接投資受入動向

はじめに

2021年5月末から6月初めにかけて、ロシア中央銀行がロシアの外国投資(外国直接投資=FDI)の最新データを発表したのので、本稿では抜粋してご紹介する。かつてロシアでは、連邦統計局が外国投資に関するデータを発表していた。しかし、統計局による発表は2013年分のデータまでで打ち切れ、現在は中央銀行に一本化されている。なお、ロシアによるウクライナ領クリミアの併合は国際的に承認されていないが、中央銀行のデータにはクリミア共和国およびセヴァストポリ市のデータも含まれている。そこで、以下では参考までに両地域のデータについても掲載している。しかし、当然のことながら、ロシアによるクリミア併合を是認するものではない。

ロシアの外国直接投資

統計局の時代と異なり、ロシア中央銀行が詳細なデータを発表しているのは直接投資だけであり、証券投資、その他投資は対象になっていない。対内直接投資(外国からロシアへの投資)と対外直接投資(ロシアから外国への投資)の両方が発表されているが、本稿では差し当たり前者だけを取り上げる。図表1には各年に関してグロスの受入額(A)、償還額(B)、ネットの受入額(A-B)を示している。2019年にネットの受入額が増加したにもかかわらず、2020年は2018年と同様に純流入はほとんどなかった。2020年末現在のロシアのFDI受入残高は5,371億1,800万ドルとなっている。

図表2～4では、ロシアのFDI受入状況を、各年のネットの受入額と2020年末時点での受入残高とで見ている。図表2では地域別、図表3では主要国別、図表4では産業部門別の受入動向を示した。